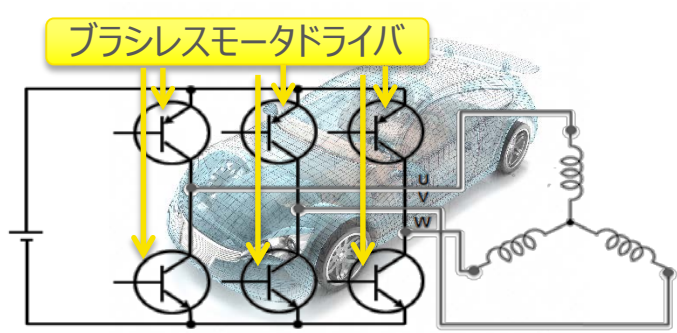


DL850EV+WT1800E 自動車用ブラシレスDCモータの電力測定と制御試験

ブラシレスDCモータ（三相BLDC）の過渡電力測定と駆動系の評価

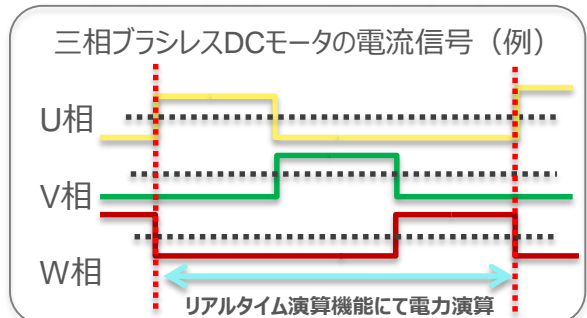
EV/HEV自動車は、少ない電気により長い時間走行できることを目指して開発されています。そのため、EV/HEVに搭載されている多くの電気電子機器の省電力化は、非常に重要となっております。特に、モータは1台のEV/HEVに数十個以上搭載されているケースもあり、省電力化の効果が期待されます。中でも、ステアリング用、あるいはドア自動開閉用モータなどは高出力が必要なため、モータの高性能化が燃費（電費）の向上に貢献します。これらのモータを長寿命で高出力であるブラシレスDCモータにすることで、バッテリー消費をより低減できます。プレジジョンパワーアナライザWT1800Eは、単相/三相モータの電力を高精度で測定できます。また、スコープコーダ・ビークルエディションDL850EVは、高速波形の観測に適したオシロスコープの機能と、多チャンネル長時間測定に適したデータロガーの機能、電力解析機能（オプション）に加え、CANバスモニタモジュールまたはCAN&LINバスモニタモジュールを使用することにより、CANおよびLIN プロトコルの通信データをトレンド波形表示できるので、開発の効率アップに貢献します。



- 自動車のモータ使用の例
- ・パワーステアリング
 - ・電動オイルポンプ
 - ・ウォーターポンプ
 - ・バックドア自動開閉
 - ・スライドドア自動開閉
 - ・サンルーフ
 - ・ウインドウ開閉
 - ・ドアロック
 - ・ドアミラー
 - ・電動シート など



WT1800Eの数値画面例



DL850EVでは、モータ回転角度と電力をリアルタイムで演算し、それらのトレンドを波形で確認できます。

DL850EV：CANバスデータの物理値トレンドと、関連する実測波形を同じ画面で一度に確認できます。例えば、CANバスによるブラシレスDCモータのON/OFFや回転数などの制御データのトレンド、および実際のモータの回転、トルク、温度等の実測信号を同じ画面で確認し、それらの信号の相関関係やタイミングを検証できます。



スコープコーダ・ビークルエディション DL850EV

